

## 第1回和歌山県子ども施策審議会

日時 令和6年6月3日(月)16時30分～18時00分

場所 和歌山県書道資料館2階大ホール

### 議事要旨

#### 【県内の地域特性】

(上野委員)

和歌山県は広域であるため、文化・社会・経済的に地域差があることを考慮する必要がある

(桑木委員)

家庭の所得の差と学力に因果関係があるのかが気になる

(松下専門委員)

地域によって、社会全体で子どもを育てる風潮に差があるように思う

#### 【こどもの意見聴取】

(田中委員)

こどもが意見できる場を作っていくことはしっかり進めてほしい

(中西委員)

不登校等、アンケート調査では意見を聴取できない人達の意見もしっかり幅広く取ってほしい

(中川委員)

小中高のこどもの声や自分から意見表明しないこどもからの意見をどう汲み上げるか考え、計画に反映させ、和歌山独自のモデルを出していただきたい

(森下委員)

- ・声が届いていないこどもや若者の声をどう汲み上げるかに重点を置いてほしい
- ・保護者だけでなく学校教員、保育者がこどもの声を聴こうとする姿勢が必要

#### 【計画の対象者・対象施策】

(木村委員)

「妊娠、出産、育児までの切れ目ない支援」と「ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた地域社会全体での取組」の両方を推進することが分かるように記載し、着実に進めてほしい

(辻岡委員)

- ・「こども」と「若者」のカテゴリー分けが不明確に思う
- ・誰しものが支援される、漏れない支援を想定して計画を策定してほしい

(中西委員)

計画にはこどもだけでなく、30代ぐらいまでは含めてほしい

(中川委員)

- ・「支援」を受け入れなかったり自分から求めない親やこどもの対応を考えてほしい
- ・いじめの問題も焦点をあてていくべき

(松下専門委員)

- ・社会全体でこども・若者や子育てを支援することをしっかり進めてほしい
- ・親育ちの過程の支援を明確に打ち出すことが、社会全体の地域力の向上には必要

(花田委員)

- ・こども・若者の発達・育成を切れ目なく支援をしている場所があることを県で広く周知してほしい
- ・病児保育、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターの利用に結び付くアプローチを考えてほしい